



寺院名物シリーズ④ 飯南組・明眼寺

明眼寺で目薬が作られ始めた時期は不明ですが、家伝の目薬の他にも薬を作っていたと記録が残っています。第7代龍吟の代には、松江藩主松平直政の末の子の眼の病気を治療し、そのお礼として直政愛用の銀の匙（銀は毒見用）を拝領しました。明治のはじめ、薬に関する法律が整備され、薬の扱いに資格が必要となったため、富山の製薬会社とその技術を引き継いだと伝えられています。

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会

発行 山陰教区 教務所
〒600-0002 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂

TEL 〇八五二 〇四七四
FAX 〇八五二 〇八三五
利信 〇八五二 〇八三五

今期の実践運動を振り返って

御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会副委員長
月洞昇道

あつという間に二年が過ぎました。各教化団体の活動もコロナ禍以前に戻りつつあります。さらには、フードバンク活動の推進・オンライン配信の充実など、今の状況に即応した体制を整えることもできました。教区委員と協力してくださった皆さまには深く感謝いたします。

ただ、寺院振興という面では、とても難しい問題に直面しています。特に過疎・後継者の問題は、なかなか打開策を見い出せず、責任を感じています。

国内にグローバルズムがますます浸透する中で、何より優先されるのが経済と効率です。過疎が加速していくのも、その大きなうねりの中の一つの事象に過ぎないのかもしれない。また、一様な価値観に覆われて、地域の伝統や文化が破壊されていくのも、寺院活動の衰退を招く要因になるでしょう。この時代の趨勢にはどうにも抗えず、不可逆的に感じます。

昨年、過疎対応支援員さんと無住寺院の現地調査に行った時のこと。訪れた何ヶ寺かの伽藍は、長い間放置されていた様子で、本堂の屋根には穴が空き、堂内にはとても入るこ

とのできない状態でした。その内の一ヶ寺は聞くところによると、数年前まで近所の総代さんが一人で維持されていたが、高齢によりそれもできなくなったとか。どの寺院も、寺族・門徒が一人となって維持しよとぎりぎりまで尽力された結果、力及ばずこのような状態になったであろうことに想いをいたします。ただ朽ちていく伽藍の前に、何もできない無力感と虚しさに、向拝にて立ち尽くすしかありませんでした。

寺院機能が一旦停止してしまうと、再び動かすためには莫大なエネルギーが必要で、だからこそ停止させないように、土俵で踏ん張っておられる方々を支えていく体制を構築していくことが大切ではないでしょうか。そのためには今までの取り組みをベースとして、さらにもう一歩踏み込んでいく施策が必要です。それを進めていくうえで、少なからず摩擦も生じるでしょう。しかし一つずつ克服していかなければ、その先には行けません。

何よりも私自身の日々の有様がお寺の行く末に直結しているのだということを深く意識して、お互いに取り組んでまいりましょう。

フードバンク活動報告

ご協力いただいた団体・個人から
二八二(延べ数)
届けていただいた食品・日用品の
数三、二五〇

お米約一、一〇〇kg、
お菓子約一、〇五〇食、
インスタント食品約一、〇五〇食、
缶詰約二三〇個、
調味料三〇〇個、
飲料水約五五〇本、
その他日用品(洗剤・タオル等)
これまで五十四回にわたり山陰両
県の社会福祉協議会や管轄する役

所、活動されている団体へお渡しし
ました。

今後も継続して実施いたしますの
で、ご協力をお願いいたします。

○届けていただきたい食品

お米・レトルト食品・インスタント
食品・缶詰・瓶詰・乾麺・のり・わ
かめ・昆布・粉末食品(お茶漬けの素・
味噌汁・ふりかけ等)・調味料(醤油・
砂糖・麵つゆ・塩・味噌・酢・食用
油等)・菓子など

○注意いただきたい事項

・賞味期限が明記されており、一ヶ
月以上あるもの(社協によっては
三ヶ月以上)
・未開封で中身が出ていないもの

・常温保存が可能なもの

※各社会福祉協議会の方から特に
お菓子・レトルト食品・カップ麺が
喜ばれたとのご連絡をいただきま
した。



仏教壮年会連盟ブロック研修会

鳥取・出雲・石見の三ブロックに
おいて、仏教壮年会のブロック研修
会を開催しました。

はじめに、九月二日(土)、鳥取
因幡組隆建寺にて鳥取ブロック研修
会を開催しました。ご講師は鳥取因
幡組西法寺住職、山名大朗師。「お
寺を心の居場所・拠り所に」をテー
マに講義をいただきました。三十三
名のご参加をいただきました。

続いて、十月二十二日(日)、出
雲市ラピタ・寿輝の間にて、出雲ブ

ロック研修会を開催しました。ご講
師は、出雲組 宗玄寺 住職、藤森觀
海師。「阿弥陀仏の願いと私」をテー
マに講義をいただきました。七十八
名のご参加をいただきました。

十二月十六日(土)には、江津市
パレットごうつにて、石見ブロック
研修会を開催しました。ご講師は山

口教区 大津東組浄土寺住職、荻隆
宣師。「礼拝のお育てーお仏壇から
お育ていただくー」をテーマに講義
をいただきました。四十二名のご参

加をいただきました。

この仏教壮年会連盟ブロック研修
会は、新型コロナウイルス感染症の
影響で中止が相次ぎ、今年度、四年
振りにすべてのブロックで研修会を
開催できました。

久しぶりの研修会で、各ブロック
ともに多くの方の参加がありまし
た。ところが、実際に会員の方と
話してみると、コロナ禍の影響で
会員減少が進み、後継者も見つから
ず、活動が縮小している会が多いと
のことです。これは山陰教区内だけ
でなく、全国的に共通の課題のよう
です。



この度の研修会が、お寺や仏教壮
年会の活動の新たな活路になれば、
と感じたことです。

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB 山陰支店**

〒690-0003
松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階
TEL 0852-23-6720
FAX 0852-23-7739
営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

本願寺山陰教堂 御正忌法要

一月十九日(金)、本願寺山陰教堂の御正忌法要をお勤めいたしました。

松江組・江津組の御法中、奏楽員

として雅龍会の皆さまにご出仕いただきました。午前の法要は「宗祖讚仰作法」、午後の法要は「宗祖讚仰作法(音楽法要)」をお勤めしました。

今年度からお斎を再開し、従来の形で法要を厳修いたしました。

また、オンライン担当の皆さまのご協力のもと、法要・法話をオンラ

インで配信しました。

ご講師は、本願寺派布教使・安部 恵証師(備後教区三次組 善照寺住職)。

御伝鈔について、その時代背景に沿ってわかりやすくお話いただきました。

ご参拝の皆さまと一緒に聴聞させていただきました。

寒い中ではありましたが、ようこそお参りくださいました。

新しい「領解文」
(浄土真宗のみ教え) 学習会

期日 一月二十四日(水)

会場 山陰教堂教化センター

現地参加者 五十九名

オンライン参加者 三十八名

この学習会は、二〇二二(令和五)年度宗務の基本方針【注力一・新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)の学びと実践】に基づき、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)の学びを深めるため、全教区・沖繩特区で開催されました。

宗派から、公文名正真 総務、満井

秀城 浄土真宗本願寺派総合研究所

長・勸学、中井真人 統合企画室幹事

が出席されました。

はじめに、満井所長から、スライドと資料をもとに講義があり、質疑応答では、計十一名の方から質問・ご意見をいただきました。

最後に、公文名総務からまとめの挨拶があり、閉会しました。



近 御本山用達
株式会社 川勝法衣店

0120-075-055
〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入
TEL.075-371-0367(代)
FAX.075-371-5088

印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒にやっていくこと。
それが私たちにできる、地域貢献のカチガたと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷
HARVEST ハーベスト出版



組重点プロジェクト リーダー・サブリーダー研修会

二月九日(金)、山陰教堂教化センター研修室において、組の重点プロジェクトリーダーとサブリーダーを対象とした研修会を開催しました。

この研修会は、昨年度に引き続き二回目の開催です。

事務局からの事務報告の後、フードバンクしまねあつたか元気便事務局長の木理之氏を講師にお招きし、「子どもの貧困問題について」をテーマに島根県内の実態や利用者の感謝の声などについてお話いただきました。

山陰教区では、フードバンク活動を始めて約三年が経ちました。今後は、地域の方々と連携して取り組みの輪をひろげていきたいと考えています。



山陰教区布教団 地区別布教大会

三隅組 西方寺 河野 慈演

二月十五日(木)・十六日(金)に、地区別布教大会が、鳥取ブロック担当のもと開催されました。

この度の開催にあたり、ご尽力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

初日は、鳥取伯耆組の香寶寺・勝福寺を会所に布教実演が行われ、各会所三名の団員の方にお取り次ぎをいただきました。

また、今回は対面でのお聴聞だけでなく、初の試みとして、二会所をインターネットでつなぎ、オンラインにてお聴聞するという形が用いられました。どちらの会所でも対面とオンラインの両方でお聴聞ができるという初めての経験の中、楽しくありがたくお聴聞させていただいた時間となりました。

二日目は香寶寺を会所に研修が行われ、安芸教区 沼田組 教雲寺の藤井大樹 師から、「オンライン配信のメリットとリスク」という講義でご講義をいただきました。

ご講義の中では最初に、メリットとリスクということについて、先生から具体的な事例を交えて問題提起をいただきました。その後、それをもとに班別に分かれて意見交換を行い、最後に各班からの意見を全体で共有し、ま

とめのご講義をいただきました。

コロナ禍以降、オンラインにてお聴聞ができる機会が各段に増え、手軽で距離や時間などの制約を超えた伝道として新たな可能性がある一方、それに伴うリスクも生じてくることを意見交換の中でさまざまな角度から聞かせていただき、大変勉強になりました。

対面でもオンラインでも、それぞれの良さがあり、デメリットやリスクもあることを踏まえたうえで、今後はさまざまな状況や環境に応じた使い分けが必要になってくるのではないかと感じています。

この度の大会での学びを大切に心に刻み、今後も研鑽を重ねていく所存です。貴重な学びの場をいただき、ありがとうございます。



山陰教区における「令和六年能登半島地震」への対応

二〇二四(令和六)年一月一日に発生した「令和六年能登半島地震」で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

山陰教区においては、現地の皆さまの安全と一日も早い復興を願い、できる限りの支援活動を行っております。

○宗派能登半島地震支援センター宛、教区災害備蓄品から支援物資を発送。

災害ボランティア登録者へのボランティア協力依頼。

○教区から、宗派たすけあい運動募金へ義捐金を送金。

また、過去に見舞金をお送りいただいた、新潟教区・国府教区へ見舞金を送金。

○教区内各教化団体から、宗派たすけあい運動募金に義捐金を送金。

○各種研修会において、参加者に募金を呼び掛け。

特別法務員資格試験・法務員資格試験 合格者連絡協議会／勤式研修会

二月二十二日(木)、本願寺山陰
教堂教化センターにおいて、特別法
務員・法務員資格試験合格者を対象
とした連絡協議会を開催しました。
この連絡協議会は、コロナ禍の影響
もあり、四年ぶりの開催です。

はじめに、山崎崇峰 教区勤式担当
副担当長から、本山で開催された勤
式指導員研修会のご報告をいただき

ました。

続いて、小原静伍 教区勤式指導員
の進行のもと、参加者同士の意見交
換を行い、資格試験合格者間のネッ
トワークづくりなどについて協議さ
れました。

午後からは、教区内僧侶を対象と
した勤式研修会を開催。元浄土真宗
本願寺派総合研究所 仏教音楽・儀礼

研究室室長の福本康之師(兵庫教区
阪神東組 福円寺 住職)を講師にお
招きし、「儀礼の身体性」をテーマ
に講義をいただきました。

「儀礼」の定義から俯瞰する真宗
儀礼の現状、儀礼の身体性をいかに
して身に付けるか、儀礼の共振性(共
同体における儀礼の役割)などにっ
いて、お話をいただきました。

参加者からは、「勤式を少し違っ
た角度からとらえることができた」
「今まで意識していなかったが、作
法の効率性を学んだ」などの意見を
いただきました。

門徒推進員連絡協議会 実践運動研修会 話し合い法座 「門徒推進員としてどのようにいききたいですか」

神門組 正善寺門徒 本^{ほん}田^だ和^{かず}政^{まさ}

二月二十五日(日) 山陰教堂教化
センターにおいて、「門徒推進員連
絡協議会 実践運動研修会」が開催
されました。

研修テーマは、「門徒推進員とい
う生き方【理念】について」。

連研中央講師・大田東組 専勝寺住
職の金盛麻衣子 師から、今回の研修
テーマについて講義をいただきました。
その要点は、次のとおりでありました。
これまで、門徒推進員は「資格で

はなく自覚である」とされ、「自覚」
に基づいた自身の取り組みとして
の「活動」が求められていた。し
かし、高齢化等により活動が困難
となり、門徒推進員を辞めたいと
いう声も聞かれるようになった。

近年の「門徒推進員中央教修」では
門徒推進員の果たすべき役割が運動
推進の活動に限定されず、「生き方」
であることが提起されている。
こうしたことを踏まえ、このたび

「門徒推進員という生き方【理念】
」及び、その「解説文」が策定された。
・【理念】の中で、「門徒推進員は、
生涯念仏者の自覚をもって寺院、
家庭、職場、及び地域などで、み
教えに基づいた生活(生き方)を
続けます。さらに、寺院・組・特区・
開教区(開教地)の門信徒、僧侶、
寺族とともに教団の運動の推進に
あたります。」と示されている。
そして、講師から、「門徒推進員と
して日頃の活動ができなくなっても役
割はあります。それは、『生き方』で
示せます。今日は、この『いきかた』
についてどのように考えるか、話し合
いましょう。」と問題提起がありました。
私は、平成二十一年度に中央教修

を修了しました。「自覚をもって活
動をすることが門徒推進員」と教
わった年代です。決意表明もこれに
沿う内容で行いました。
あれから十四年、今年喜寿を迎え、
活動を重荷に感ずるようになってき
ました。今日の研修で、「活動はで
きなくても役割はある」と聞かされ
ました。この先、
いつかは活動がで
きなくなる時が来
ますが、生涯念仏
者としての自覚を
持ち、み教えに基
づいた生活(生き
方)を続けたいと
思うことです。



実践運動委員会

一、日時 二〇二四 (令和六) 年

二月二十六日 (月)

午後一時三十分

午後三時五十分

二、会場 山陰教堂

教化センター研修室

三、出席者 委員二十四名

※欠席者十四名

四、協議事項

(一) 事務報告

事務局から報告・説明。

・教区委員会委員の就退任、常任

委員会委員の就退任、連研担当

の就退任、オンライン担当の担

当長・副担当長就任、組重点プ

ロジェクトサブリーダー退任に

ついて

・教区委員会委員の任期について

(二) 中央委員会報告

波北 顕中央委員から報告・説明。

・次期総合基本計画・重点プロジェ

クト (最終案) について

・今期の宗派の取り組み (子ども

たちの笑顔のために募金・子ど

も食堂) について

・人権啓発推進僧侶研修会・推進

協議会の実施状況について

(三) 二〇二三 (令和五) 年度事

業報告 (現況)

事務局及び各部会の部長から報

告。特記事項は以下の通り。

【伝道・広報部会】

・研修会でオンラインが併催され

るのは良いことだが、その時間

に参加できない場合もある。事

前申込者だけでも、後日アーカ

イブ (録画) が視聴できるよう

にはならないか。

・教区ホームページについて、教

区報担当からオンライン担当へ

の所掌変更について報告。

(四) 二〇二四 (令和六) 年度事

業計画 (案)

事務局及び各部会の部長から説

明。原案通り承認。特記事項は

以下の通り。

【同朋・社会部会】

・既にエコキャップ収集運動に取り

組んでいる寺院もある。教区と

どのように連携したら良いのか。

・エコキャップ収集運動など、活

動を広げていくのも大切だが、

焦点を定めることも必要。今必

要なことは災害の支援ではない

か。募金活動などについても奨

励してほしい。

・既に平和への取り組みを行って

いる教団もある。他の宗教団体

との連携という視点も持つてみ

てはどうか。

(五) 内規一部変更について

教区委員会設置規則内規の一部

変更について、原案通り承認。

(六) 部会

※三部会に分かれ協議

(七) 全体会

各部会部長から部会の協議内容

を報告。特記事項は以下の通り。

【同朋・社会部会】

・活動の焦点を定めるべきという

ご意見について、この部会の所

掌事項は「差別、平和、環境な

どの社会問題への取り組み」で

あり、今年度の同朋社会研修会、

並びに、来年度の同朋社会研修

会もこの所掌事項に沿ったテー

マ選択をしている。

・エコキャップ収集活動について

は、同朋社会部会の部員として

も積極的にPRしていきたい。

【寺院活動支援部会】

・ご縁まち交流については、来年

度に向けてしっかりと企画を考

える。婚活を前面に出すのでは

なく、誰でも参加できるように

開催形態も検討したい。また、

子ども・若者ご縁づくり担当と

の連携も重要だと考える。

【伝道・広報部会】

・来年度の僧侶研修会は、一日開

催とする。なお、スタッフの人

数体制やサテライト会場の参加

人数などを考慮し、サテライト

会場は一会場としたい。また、

懇親会の実施については、サテ

ライト会場との兼ね合いもあ

り、今後の課題としたい。

・オンライン配信のアーカイブの視聴

については、講師の了承が必要であ

り、オンライン担当において今後検

討したい。

・各教化団体の研修会でもオンラ

イン配信を実施していきたいと

考えているが、配信会場によつ

ては機材の問題もあることをご

了承いただきたい。

・オンラインが普及することで、

かえって対面の大切さを実感で

きたという意見もあった。

(八) その他

事務局から報告・説明。

・一月二十四日 (水) に開催した、

新しい「領解文」(浄土真宗の

み教え) 学習会について

・令和六年能登半島地震に対する

教区の災害支援活動、並びに、

宗派たすけあい運動募金の協力

依頼について

2024 (令和6) 年度 実践運動 山陰教区 行事予定

部門	行事(事業)名	期日	会場	講師	参加者
教区委員会	実践運動委員会(総会)		本願寺山陰教堂	—	
	実践運動ブロック連絡会議		(5ブロックごとに自主的に開催)		
	実践運動人権啓発推進僧侶研修会		(各組または合同開催)		
	実践運動推進協議会		(各組または合同開催)		
同朋社会部会	組重点プロジェクトリーダー・サブリーダー研修会				
	同朋社会研修会	7月17日(水)	ビッグハート出雲	森達也氏	
寺院活動支援部会	連研のための研究会				
	連研履修者研修会				
	キッズサンガ通信発行		—		
	寺院子弟のネットワークづくり				
	子ども・若者ご縁づくり教化資料発行		(しおり頒布)		
伝道広報部会	ご縁まち交流				
	カレンダー・伝道資料・冊子発行		10月発行		
	教区報「山陰」発刊		158号・159号・160号		
	ホームページ「山陰教区」		(https://saninkyoku.net)		
	僧侶研修会	9月13日(金)	本願寺山陰教堂他	佐々木義英 師	
	勤式講習会(僧侶研修会と併修)	〃	〃	勤式指導員	
	法務員・特別法務員連絡協議会・勤式研修会	2月19日(水)	本願寺山陰教堂	水本高史 師	
	勤式練習所	5月23日(木)	浜田組 覚永寺	勤式担当者	
		6月13日(木)	浜田組 覚永寺	勤式担当者	
		7月18日(木)	浜田組 覚永寺	勤式担当者	
9月5日(木)		本願寺山陰教堂	勤式担当者		
10月10日(木)		本願寺山陰教堂	勤式担当者		
12月17日(火)	本願寺山陰教堂	勤式担当者			
オンラインに関する取り組み	サテライト拠点設置に向けた取り組み、オンライン研修会、オンライン配信の実施				
社推協	各施設カレンダー配布				
ビハハラ	ビハハラ山陰総会				
	ビハハラ活動第4連区研修会	—	—	—	—
	ビハハラ全国集会	—	—	—	—
	ビハハラ公開講座				
	ビハハラ山陰機関誌発行				
門徒推進員	総会				
	実践運動研修会	第4連区実践運動研修会併催			
	第4連区門徒推進員実践運動研修会	10月27日(日) 28日(月)	ホテル玉泉	波多唯明 師	
	会報「ともしび」発行				
布教団	総会	4月17日(水)	本願寺山陰教堂		
	地区別布教大会	2月26日(水) 27日(木)	石東ブロック	天岸淨国 師	
	教学研修会	7月10日(水)	本願寺山陰教堂	岡村謙英 師	
	教区青年布教使大会				
	教区青年布教使研修会				
	第4連区布教使研修会	7月1日(月) 2日(火)	安芸教区		
	第4連区青年布教使研修会	10月1日(火) 2日(水)	本願寺山陰教堂	赤井智顕 師	
寺院振興「ともしび法座」	(組長からの申請に基づき実施)				
総代会	総代会研修会				
	第4連区門徒総代会研修会	—	—	—	—
	会報「門徒総代会だより」発行	3月発行予定			
壮年会	仏教壮年会セミナー		山口教区		
	総会・研修会	6月8日(土)	本願寺山陰教堂	北山祐章 師	
	ブロック研修会(鳥取地区)				
	ブロック研修会(出雲地区)				
	ブロック研修会(石見地区)				
	連区連絡協議会		山口教区		
	全国仏教壮年会大会				
会報「壮創」発行					
婦人会	仏婦	創立70周年記念大会(総会・研修会)	5月15日(水)	出雲市民会館	三宮享信 師
		実践運動研修会			
		教区若婦人のつどい			
		連区連絡協議会			
		中四国地区仏教婦人会大会	9月27日(金)	鳥根県民会館	小池秀章 師
	寺婦	仏教婦人幹部研修会			
		若婦人中央研修会			
		総連盟総会	4月24日(水) 25日(木)	本願寺	
		世界仏教婦人会大会	—	—	—
		寺族婦人研修会			
寺族若婦人研修会					
会報「寺婦のひろば」発行					
青少年	少年	総会			—
		指導者研修会			—
		少年連盟中央研修会			—
		中・四国ブロック指導者研修会	6月20日(木) 21日(金)	四州教区	
		少年教化寺族女性研修会			
	保育	広報紙「はばたき」発行			
		まことの保育大学講座(連区)	7月30日(火) 31日(水)	山口教区	
		全国保育大会	—	—	—
		総会・理事会			—
		中四国ブロック真宗青年の集い		安芸教区	
仏青	全国仏教青年のつどい	—	—	—	
	青少年教化指導員研修会			—	
	全国寺族青年軟式野球大会			—	
野球	中・四国地区寺族青年野球大会	5月8日(水) 9日(木)	山口教区		
	矯正教化連盟山陰教区支部総会				
矯正教化	矯正教化連盟広島支部(教誨師)研修会	1月28日(火) 29日(水)	安芸教区		
保護司	更生保護事業支部総会				

2024 (令和6) 年度 山陰教区一般会計 歳計予算

【歳入】

款 項	2024年度予算額	2023年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	34,395,000	34,755,000	△ 360,000
1 本年度賦課金	34,395,000	34,755,000	△ 360,000
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	11,850,000	10,360,000	1,490,000
1 宗派助成金	11,850,000	10,360,000	1,490,000
3 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
1 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
4 回 金	1,610,000	110,000	1,500,000
1 回 金	1,610,000	110,000	1,500,000
5 雑 収 入	1,745,000	1,185,000	560,000
1 雑 収 入	1,745,000	1,185,000	560,000
6 前年度繰越金	8,900,000	11,000,000	△ 2,100,000
1 前年度繰越金	8,900,000	11,000,000	△ 2,100,000
歳入合計	60,300,000	59,210,000	1,090,000

【歳出】

款 項 目	2024年度予算額	2023年度予算額	対比△減
1 教区事業費	15,630,400	13,240,600	2,389,800
1 総合教化企画費	2,963,000	2,450,000	513,000
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	2,963,000	2,450,000	513,000
2 教化費	6,190,000	5,600,000	590,000
1 寺院機能振興費	730,000	950,000	△ 220,000
2 婦人青少年費	1,650,000	1,150,000	500,000
3 総代・壮年費	300,000	300,000	0
4 研修費	2,160,000	1,900,000	260,000
5 矯正福祉費	350,000	350,000	0
6 文書伝道費	950,000	900,000	50,000
7 教化活動費	50,000	50,000	0
3 助成費	6,277,400	4,990,600	1,286,800
1 布教団助成金	530,000	330,000	200,000
2 各種団体助成金	620,000	490,000	130,000
3 地方教化助成費	4,127,400	4,170,600	△ 43,200
4 組教化助成費	1,000,000	0	1,000,000
4 災害対策費	200,000	200,000	0
1 災害活動費	200,000	200,000	0
2 会議費	2,010,000	1,510,000	500,000
1 会議費	2,010,000	1,510,000	500,000
1 教区会議費	1,460,000	960,000	500,000
2 組長会費	400,000	400,000	0
3 各種会議費	100,000	100,000	0
4 職員会議費	50,000	50,000	0
3 教務所費	24,490,000	24,440,000	50,000
1 人件費	19,210,000	19,110,000	100,000
1 教務所職員俸給	11,600,000	11,600,000	0
2 賞与	2,750,000	2,750,000	0
3 退職交付金	10,000	10,000	0

【歳出】

款 項 目	2024年度予算額	2023年度予算額	対比△減
4 福祉費	2,800,000	2,800,000	0
5 諸手当	2,000,000	1,900,000	100,000
6 教区勤式指導員事務費	50,000	50,000	0
2 事務費	3,900,000	3,750,000	150,000
1 通信印刷費	1,650,000	1,600,000	50,000
2 事務消耗品費	650,000	650,000	0
3 事務諸費	1,300,000	1,300,000	0
4 備品費	300,000	200,000	100,000
3 旅費	800,000	1,000,000	△ 200,000
1 交通費	800,000	1,000,000	△ 200,000
4 諸費	580,000	580,000	0
1 慶弔供奠費	150,000	150,000	0
2 接待費	30,000	30,000	0
3 渉外費	200,000	200,000	0
4 雑費	200,000	200,000	0
4 回金	15,000,000	15,010,000	△ 10,000
1 回金	15,000,000	15,010,000	△ 10,000
1 山陰教堂運営費	13,450,000	12,460,000	990,000
2 災害対策費	1,000,000	1,000,000	0
3 退職積立金	0	1,000,000	△ 1,000,000
4 子ども・若者推進事業費	50,000	50,000	0
5 「各種法要」積立金	500,000	0	500,000
6 平衡資金	0	500,000	△ 500,000
7 慶讃法要費	0	0	0
5 宗会議員選挙費	500,000	100,000	400,000
1 宗会議員選挙費	500,000	100,000	400,000
1 宗会議員選挙費	500,000	100,000	400,000
6 予備費	2,669,600	4,909,400	△ 2,239,800
1 予備費	2,669,600	4,909,400	△ 2,239,800
歳出合計	60,300,000	59,210,000	1,090,000

オフィスの身近な応援団!
For the best service company.

MiC 株式会社 ミック

本社 〒690-0826 松江市学園南2-10-14タイムプラザビル1F
 TEL 0852-27-0329 FAX 0852-27-0376
 支店 / 出雲・雲南・大田・浜田・益田・山口

<https://www.mic-ltd.co.jp>

2024(令和6)年度 本願寺山陰教堂 常例法座「燈映会」

場所：本願寺山陰教堂（松江市大正町 443-1） ※ JR 松江駅南口から徒歩 3 分

	日時	講師名	組	寺号	
2024年 (令和6年)	4月19日(金) 午後1時30分～	柳樂 由乗	出雲組	龍善寺	
	5月21日(火) 午後1時30分～	荒本 由未	大田西組	西臨寺	
	6月21日(金) 午後1時30分～	毛利 孔晶	千須賀組	眞淨寺	
	7月19日(金) 午後1時30分～	嘉戸 慎吾	江津組	淨妙寺	
	8月21日(水) 午後1時30分～	藤井 哲眞	出雲南組	福泉坊	
	9月20日(金) 午後1時30分～	大原 浩市	大田中組	淨土寺	
	10月21日(月)	報恩講法要(二座) (午前法要)午前10時30分～ (午後法要)午後1時30分～	高橋 格昭	備後教区 御調西組 梅林寺	
	12月20日(金) 午後1時30分～	西原 真公	佐波組	淨土寺	
2025年 (令和7年)	1月21日(火)	御正忌法要(二座) (午前法要)午前10時30分～ (午後法要)午後1時30分～	野村 康治	大阪教区 中島東組 瑞松寺	
	2月21日(金) 午後1時30分～	波北 顕	江津組	光善寺	
	3月21日(金) 午後1時30分～	山崎 崇峰	出雲組	妙壽寺	

毎月21日開座(11月を除く) ※21日が土日祝日の場合は平日に前倒し

2024(令和6)年度 山陰教区 鳥取常例線

各月15日～17日(5会所)	講師名	組	寺号
2024(令和6)年	9月	藤澤 行治	浜田組 正念寺
	10月	吉田 剛	松江組 眞光寺
2025(令和7)年	3月	林 彰	大田東組 松林寺

2023(令和5)年度 ともしび法座開座報告

	組	寺号	法座名	開座日	講師名
1	大田東組	禮善寺	永代経	令和5年 5月27日(土)	河野 慈演
2	大田中組	法乗寺	永代経	令和5年 6月17日(土)	佐々木かおり
3	佐波組	大光寺	報恩講	令和5年 11月11日(土)	波北 顕
4	江津組	淨念寺	報恩講	令和5年 11月23日(木)	小野 隆志
5	大田東組	禮善寺	報恩講	令和5年 12月3日(日)	朋澤 融智
6	鹿足組	了徳寺	御正忌報恩講	令和6年 1月8日(月)	市野 覚生

山陰教区寺院振興「ともしび法座」のご案内

山陰教区では、住職不在等の理由で法座開催が困難になっているご寺院を対象に寺院機能の振興を目的として、教区布教団員の奉仕布教による「ともしび法座」を開座しています。この法座は、平成14年度(平成16年度から「ともしび法座」に名称変更)から実施され、今年で23年目を迎えます。これまでに報恩講・永代経法要など延べ202座に出講させていただきました。人口減少・高齢化等の影響で寺院を取り巻く状況は益々厳しくなっています。さまざまな理由から法座が開催できないなどお困りの場合は、教務所までご相談ください。詳細についてご案内いたします。

※開座には寺院の所属する組長からご申請いただきます。

2024 (令和6) 年度 山陰教区「勤式練習所」

今年度も「勤式練習所」を開設いたします。

仏さまへの敬意の心を形にしたのが勤式作法です。

お経のご文を深く味わう声明理論や僧侶とご門徒ともにみ教えを共感するための作法。報恩講の参りあいや日々の法務をより丁寧にするために、あらためてご自身の作法や勤式理解を確認してみませんか。

さまざまご要望にお応えするため、今年度は「基礎コース」「実践コース」「作法コース」の3つのカリキュラムを設置します。

また、より多くの方に受講いただけるよう、前半は西部会場（浜田組 覚永寺）、後半は東部会場（本願寺山陰教堂）にて講義を行います。

どうぞお誘い合わせのうえ、受講ください。

基礎コース	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学び直したい方 ・これから得度講習会・得度考査を受けられる方 ・これから得度習礼を受けられる方 ・得度して間もない方 ・ご門徒の方 	基本作法 正信偈 など
実践コース	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の法務に役立つ実践的な内容を学びたい方 ・住職に就任されたばかりの方、もうすぐ住職に就任される方 ・これから教師教修を受けられる方 	声明理論 葬儀 衣体の着付け 正信念仏偈作法 伽陀 読み物 など
作法コース	<ul style="list-style-type: none"> ・声明・作法について、より深く学びたい方 ・特別法務員を目指す方 ・近々法要を勤めようと考えておられる方 	声明理論 法要作法の種類 頭発音する曲 新制 御本典作法 五会念仏作法 巡讃の説明 総まとめ など

コース	開催日	時間	内容	会場	講師	準備物
実践コース ①	5月23日 (木)	13:30 ~16:00	声明理論 葬儀 衣体の着付け (色衣、七条、切袴)	浜田組 覚永寺	山陰教区 勤式担当	勤式集または声明集・法式規範・「葬儀勤行集」「葬儀規範勤行集」「葬儀規範勤式集」「葬儀規範」のいずれか・七条袈裟・僧綱板・色衣・切袴・中啓・双輪念珠・平服・布袍・輪袈裟・単念珠
実践コース ②	6月13日 (木)	13:30 ~16:00	正信念仏偈作法 伽陀 読み物 衣体の着付け (黒衣、五条)	浜田組 覚永寺	山陰教区 勤式担当	勤式集・法式規範・五条袈裟・黒衣・中啓・双輪念珠・平服・布袍・輪袈裟・単念珠
基礎コース	7月18日 (木)	13:30 ~16:00	基本作法 正信偈	浜田組 覚永寺	山陰教区 勤式担当	「浄土真宗聖典—勤行集—」「勤式集」「小本和讃」または普段お使いの聖典 <僧侶> 平服・布袍・輪袈裟・単念珠 <門徒> 単念珠・式章
作法コース ①	9月5日 (木)	18:00 ~20:30	声明理論 法要作法の種類 頭発音する曲	本願寺 山陰教堂	山陰教区 勤式担当	勤式集または声明集・法式規範・平服・布袍・輪袈裟・単念珠
作法コース ②	10月10日 (木)	18:00 ~20:30	新制 御本典作法	本願寺 山陰教堂	山陰教区 勤式担当	「新制 御本典作法」経本・平服・布袍・輪袈裟・単念珠
作法コース ③	12月17日 (火)	18:00 ~20:30	五会念仏作法 巡讃の説明 総まとめ	本願寺 山陰教堂	山陰教区 勤式担当	勤式集または声明集・法式規範・平服・布袍・輪袈裟・単念珠

受講料 各回 1,000 円

会場 <西部会場> 浜田組 覚永寺
<東部会場> 本願寺山陰教堂

〒 697-0005 浜田市上府町イ 261
〒 690-0002 松江市大正町 443-1

お問い合わせ・お申し込み

山陰教区教務所

電話 0852-21-4747 FAX 0852-27-8351 メール online@saninkyoku.net

ドレミファ組

大田東組実践運動の取り組み

大田東組重点プロジェクトリーダー「みんなの寺子屋」 岩根了達

今日、子どもたちの置かれている環境は、人口減少・少子化などさまざまな問題を抱えています。さらにコロナ禍により人と人とのつながりや地域との関わりも希薄化し「子どもも貧困」という状況を生み出してきました。以前はお寺を中心にして子どもの居場所をつくり、そこで「読み・書き・そろばん」が行われ、地域による子どもへの家庭教育支援が行われていました。

この度の大田東組での事業は、今の社会の状況に鑑み、お念仏を通して「相手を尊重し思いやる心」「おかげさまの心」など、心の醸成を目指すとともに、昔から伝わる食文化や地域に出かけ歴史を学ぶ地域学習にもつなげることで、身体を動かすことにより心身共に成長することなどを目的として企画、実践してきました。日程は、第四日曜日の十時から十一時三十分。対象は小学生児童と保護者(兄弟・姉妹可)で、今年度は十一家族二十八名参加。スタッフは仏教女性部、寺院女性部、若手次世代僧侶、寺院関係者など十二名で支援しました。

十月地域貢献活動「海岸清掃」・十一月「子ども報恩講」・十二月食文化「餅つき」・一月「正月遊び」・二月「作って遊ぼうゴムでつぼう」・三月閉校式です。基本的には市内寺院が会場で、開校式に作った手作り念珠で合掌・礼拝から始め「らいはいのうた」「子ども法話・仏さまのお話」の後、それぞれの活動を行いました。

年間を通しての活動で、参加児童の感想は「川遊びが一番楽しかった。」「餅つきはつきのが難しかった。」「意見。保護者からは「なかなかできない貴重で楽しい経験を、年間通してさせていただきました。」「どの経験も子どもたちの心に残るものになりました。」「ごめんなさい・ありがとうの気持ちを教えていただきました。」「との意見をいただきました。お寺に出かけるご縁がなかった皆さんが「みんなの寺子屋」事業を通して、手を合わせることで、仏さまの話や話を聞くことで、初めて見えてくる世界がありました。この事業も三年目になります。児童への案内をどのようにしていけばいいのか、スタッフの確保など課題もあります。活動を通して参加者もスタッフもお互いが心豊かに生きる社会の実現に向け、今後も取り組んでいきたいと思っています。

つぶやき職員

先日、中学生時代の同窓会がありました。何年も会っていない同級生との再会に童心に帰り、年甲斐もなくはしゃぎました。皆成長し、「この人誰だ?」と見ただけでは気づけなかつた人も中にはいました。しかし、話をしてみたら外見は大きく変わっても、内面は私知っていた。彼だどすぐにわかりました。

この同窓会で少し残念だったことは、会いたかつた先生が欠席していたことです。事情を聞いてみますと、事前に出席と連絡がありました。三日前に「インフルエンザになったため欠席する。」との知らせが幹事に届いたようです。やんちゃだつた私たちが常に気にかけてくれた人であり、物事を上からいうのではなく私たちの視点にあわせて教えてくださる方でした。上から押しつけるのではなく、私たちの意見も聞きつつ、大切なことを教えてくださった先生であつたため、会えなかつたことは非常に残念でした。相手の立場で物事を考えることは、意識していても難しく、時折できなくて反省する私でもあります。先生の教えを心に留め、日々生活ができたと思う毎日です。(K・R)

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 古田た佛具製作所

〒600-8328 京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーアクセス 0120-343-036

丸谷焼の産地、石川縣能登市の文化「虚空蔵堂」で一つ一つにこだわり製作された丹筒オリジナル小皿です。



F7053 丸谷焼 下藤紋入小皿
サイズ: 直径 13.5cm 紙箱入 3,300円 (税込)



〒600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
Tel 075-351-1234 Fax 075-341-7905
☎ 0120-075-720

オンラインショップを開設しました





浄土真宗青年僧侶連絡協議会（浄青僧）本山総参拝を二月五日（月）、「私は動く〜共にあゆむいのちの輪〜」をテーマに、本願寺を会場に開催いたしました。浄青僧加盟団体の青年僧侶六十六名にご参加いただき、開会式はご門主さまご臨席のもと、御影堂で行いました。

ご講師には北京パラリンピック金メダリストのプロ車椅子ランナー・伊藤智也選手をお迎えしました。「誇れる過去は諦めない今がつくる」と題して、伊藤選手と車椅子競技の出会いから今の生きる指針へと繋がった経験等、熱の入ったお話をお聞かせいただきました。

特に印象に残ったお話は、伊藤選手が初めてパラリンピックに出場したアテネ大会の際、アクシデントで伊藤選手の車椅子が転倒し優勝候補の選手が巻き添えで転倒された時のこと。申し訳なく謝

のランナーの行く末を一緒に眺めていようと促されたそうです。その転倒した選手はご自身の病気の進行によって亡くなられ、再会することはできなかつたようですが、その時にかけてもらった言葉や態度、すべてが伊藤選手を育み、今を生きる指針へとつながるご縁となられたそうです。伊

(憂) (楽) (帳)

浄土真宗青年僧侶連絡協議会
本山総参拝について(ご報告)

実行委員長 益田組 善正寺
齋藤友法

ろうとその転倒した選手のところを顔を伏せながら向かっていきました。転倒した選手から途中リタエアになる悔しさをぶつけられるのではないかと、叱られるのではないかと恐る恐る顔を上げたところ、相手からとびつきりの笑顔で「ナイスラン！」と讃えられたのです。そして、まだ走っている他

藤選手はその時のことを「大いなる赦し」と名付けておられました。



また、質疑応答の時間には青年僧侶からの質問だけではなく、伊藤選手から「なもあみだぶつ」って何ですか？という質問がありました。ひとりの青年僧侶が返答している中、それぞれが改めて自分自身の立場で質問を受け止め考える機会をもった瞬間でもあったように思います。昨年度の全国大会テーマの「和」から、多様な視点を持ちつながら巡る「輪」へと示すことができましたと思っています。

最後になりましたが、この本山総参拝へ向けて教区内各寺院からさまざまなご支援・ご協力をいただきました。心からお礼申しあげます。今後とも楽法会を何卒宜しくお願い申しあげます。

編集後記

教区報『山陰』第一五七号をお届けいたします。ご覧ください。

一月一日午後四時一〇分、能登半島地震が発生しました。この震災によりお亡くなりになった方、被災されました方々にはお悔やみ、お見舞い申しあげます。一日も早い復興を願い、今できることをお手伝いさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の事情は昨年五月から五類へと引き下げられ、コロナ禍以前の経済、生活環境に戻りつつありますが、感染はまだまた油断のできないところです。

いつか終息を迎えることでしようが、その時、どのような生活環境であるべきなのかを今から考え、この感染症から得たもの、失ったもの、しっかりと検証しておかなければなりません。

得たものは、例えば数年後には主流になったであろうオンライン化の早期実現と伝統の簡略化。失ったものは、オンライン化による対面の機会、先人から受け継がれてきた伝統継承の大切さではないかと思えます。得るよりも、失われたものを以前のカタチに戻すには大変な時間と労力が必要になります。アフターコロナは失ったものの再生、伝統の継承ではないかと考えています。(T・M)